

講義・演習概要（シラバス）

第1部課程第122期（平成26年4月8日～平成26年9月5日）

課 目 名	組織・行政の危機管理
時 限 数	2 時限
担 当 講 師	田中危機管理広報事務所代表取締役社長 田中正博 ＜プロフィール＞ 1962 年 早稲田大学文学部卒、同年、電通パブリック・リレーションズ社。パブリシテイ局長、常務取締役、専務取締役、顧問。 2001 年、田中危機管理広報事務所を設立。2010 年から現職。 これまで、緊急記者会見、クレーム対応、欠陥商品問題、訴訟問題、不祥事など 1,500 件を超える組織の危機管理コンサルティング業務を担当。 静岡県ジャンル別広報アドバイザー（H19.4～）、事業構想大学客員教授（H24.4～H25.3）（社）東京商工会議所 危機管理アドバイザー（H17.4～H25.3）（社）建設広報協議会理事（H19.4～H19.4）、
ね ら い	自治体の真の危機＝「不祥事」の発生する原因や発生時の管理職の心得、失敗から学ぶ行政の危機管理、緊急記者会見時の応答の心得などを習得することをねらいとする。
講 義 概 要	公務員の不祥事は、撲滅しなければならない組織の危機管理の最重要課題である。この意識を強く自覚し、職場の一人一人に危機管理意識を浸透していくミッションが、いま、係長に求められている。係長の意識次第で、間違いなく職場の仲間の意識は変わる。豊富な事例を紹介しながら職場の不祥事は「なぜ起きるのか」その原因を理解し、次に「どうした防げるのか」その具体策について、実践的な視点から分かり易く説明する。 特に「こんな時、どう対応する？」という職場の危機発生時の対応について、研修生自らが当事者意識を持って考えてもらう演習課題を事前に提示するので、改題解決に取り組んでいただきたい。 その他、項目としては次のとおり。 1. 不祥事を超す「3つの原因」を知る 2. 不祥事防止重要なのは「知識」より「意識」である 3. 係長（職場のリーダー）としての危機管理の必須知識と心得 4. 危機発生時のマスコミ対応の基本心得
受講上の注意	演習課題については、必ず事前に各自で検討してくること。
使 用 教 材	テキスト『実践・危機管理広報』改訂版（田中正博著 時事通信社出版局） 講義レジュメ
効 果 測 定	なし
そ の 他 (他の課目との関連)	なし